学修成果の可視化に向けた具体的検証方法一覧表（アセスメントプラン：大学院）

成蹊大学では、成蹊大学の学位授与の方針（Diploma Policy；ＤＰ）、成蹊大学の教育課程編成・実施の方針（Curriculum Policy；ＣＰ）、成蹊大学の入学者受入れの方針（Admission Policy；ＡＰ）を策定しております。
それらの可視化及び検証は以下の方法で実施いたします。大学院全体レベル（機関レベル）、研究科レベル（教育課程レベル）、授業科目レベル（科目･授業ごと）の学修成果を可視化し、その結果をそれぞれの改善につなげ学修支援を強化します。

＜達成すべき質的水準＞

学位授与の方針（Diploma Policy；ＤＰ）／※達成すべき質的水準は、大学院・各研究科・各専攻・各コース策定のDPを参照。
教育課程編成・実施の方針（Curriculum Policy；ＣＰ）／※達成すべき質的水準は、大学院・各研究科・各専攻・各コース策定のCPを参照。
入学者受入れの方針（Admission Policy；ＡＰ）／※達成すべき質的水準は、大学院・各研究科・各専攻・各コース策定のAPを参照。

＜具体的な検証方法＞具体的な検証方法等は、次の表の通りである。

	入学前・入学直後 Admission Policy検証	コア/ オプション ※1	在学中（単位認定・進級判定） Curriculum Policy検証	コア/ オプション ※1	修了時（修了後） Diploma Policy検証	コア/ オプション ※1
大学院全体レベル （機関レベル）	各種入学試験 定員充足率	コア コア	GPA ※3 修得単位数 退学率・休学率 アセスメントテスト(1年生次)【前期課程のみ】※4	コア コア コア コア	学生調査(修了時アンケート) 学位授与数 就職率・進学率 アセスメントテスト(1年生次)【前期課程のみ】※4	コア コア コア コア
研究科レベル （教育課程レベル）	各種入学試験 各種調査書類 ※2 定員充足率 募集要項 ※5 授業評価アンケート(1年生前期) 成績評価(1年生前期)	コア コア コア コア オプション オプション	GPA ※3 修得単位数 退学率・休学率 アセスメントテスト(1年生次)【前期課程のみ】※4 学生授業評価アンケート 履修モデル 論文投稿・学会発表実績 研究中間報告 ルーブリック	コア コア コア コア オプション オプション オプション オプション オプション	学生調査(修了時アンケート) 学位授与数 就職率・進学率 アセスメントテスト(1年生次)【前期課程のみ】※4 学位論文等 ※6 論文投稿・学会発表実績 学位論文等のルーブリック	コア コア コア コア コア オプション オプション
授業科目レベル （科目･授業ごと）	―		成績評価 学生授業評価アンケート	コア コア	―	

※1 オプションの場合、その指標を検証に用いるか否かの判断は各研究科に委ねる。

※2 志望理由書、研究課題等調査票、研究計画書、調査書、調査票など、各研究科で提出を求めている書類。

※3 GPA： 成蹊大学大学院学則参照。

※4 アセスメントテスト：外部の評価者・専門家などによる評価で客観的な指標（学修成果の指標）を獲得するためのテスト。Diploma Policyで明示した項目検証の一指標。

※5 各研究科にて作成している出願方法や選抜内容等を記載した資料。

※6 学位論文又は特定課題研究の成果：提出状況、その評価などの数値データ。

＜可視化（アセスメント）活動を支える組織＞

【大学院全体レベル（機関レベル）、研究科レベル（教育課程レベル）】具体的な検証方法に明示されたデータを扱う大学の部、室、課、事務室（以下「各事務部署」とする）並びに大学院、研究科等は学長室総合企画課に学修成果の可視化に必要な数値データ（学生個々に紐づいた数値データ）を抽出し提供する。ただし、データ統合や指標化の必要がないデータについては、この限りではない。学長室総合企画課は、収集した数値データを必要に応じて統合し、大学院・研究科・各事務部署等の各所属長に指標を提供する。大学院・研究科・各事務部署等は、その指標を検証・評価し、その結果を内部質保証制度の運用を通じて改善につなげる。また、大学院・研究科・各事務部署等の所属長は、検証・評価のために必要な指標の提供を学長室総合企画課に要請することができ、学長室総合企画課も大学院・研究科・各事務部署等の所属長に上記「具体的な検証方法」以外の数値データ提供を要請することができる。
【授業科目レベル（科目･授業ごと）】各科目・授業担当者は、当該授業の「授業評価アンケート」「成績評価」の指標を検証・評価しそれぞれの改善につなげる。